

## News Release

2019年12月16日  
岩手県平泉町  
株式会社岩手銀行  
株式会社地域経済活性化支援機構  
一般社団法人世界遺産平泉・一関DMO  
株式会社イーブレインズ

### 岩手県平泉町における「文化遺産を活用した観光による地域活性化」に関する 連携協定の締結について

岩手県平泉町(町長:青木幸保、以下「平泉町」)、株式会社岩手銀行(本店:岩手県盛岡市、代表取締役頭取:田口幸雄、以下「岩手銀行」)、株式会社地域経済活性化支援機構(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:林謙治、以下「REVIC」)、一般社団法人世界遺産平泉・一関DMO(所在地:岩手県一関市、代表理事:松本数馬、以下「世界遺産平泉・一関DMO」)及び株式会社イーブレインズ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:高橋邦忠、以下「イーブレインズ」)の5者は、本日、「岩手県平泉町における『文化遺産を活用した観光による地域活性化』に関する連携協定」(以下「本協定」)を締結しましたので、お知らせいたします。

なお本協定は、文化遺産や自然環境等の地域の観光遺産を活用して地方へのインバウンド誘客や地域の観光消費額の増加を図るため、REVICが観光庁との連携のもと2019年6月19日に設立した「観光遺産産業化ファンド」の活動の一環として締結されたものです。

平泉町、岩手銀行、REVIC、世界遺産平泉・一関DMO及びイーブレインズは本協定に基づき、平泉町における「文化遺産を活用した観光による地域活性化モデル」の構築を目指し、地域の経済・雇用を支える基幹産業である観光産業の発展と文化遺産等の保護・保全の両輪サイクル構築に向けた取組を協働で推進していきます。



平泉の文化遺産である中尊寺金色堂新覆堂(左)と毛越寺浄土庭園(右) 【※転載使用不可】

## 【本協定の概要】

歴史的資源や自然環境に恵まれた平泉町は、2011年6月に「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録されたことを契機に国内外から多くの観光客が訪れています。平泉町では、「平泉の文化遺産」の普遍的な価値を永続的に継承し、持続可能な地域づくりに取り組みながら、世界遺産による観光振興が町民の“幸福”に資することを目的としてこれまで様々な観光振興施策を展開しています。

本協定は、平泉町内で平泉の文化遺産を核とした「文化遺産を活用した観光活性化モデル」を構築し、本モデルの事業効果を周辺地域や岩手県全域に波及させながら、観光の活性化と文化遺産の保護・保全の両輪サイクル構築に向けた取組を推進すべく、5者で連携及び協力することを目的としています。

## 【観光遺産産業化ファンドの概要】

2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人、訪日外国人旅行消費額8兆円等を達成するためには、政府一丸、官民挙げての取組が必要です。観光庁とREVICは、2014年5月に締結した包括的連携協定に基づき、観光を軸とした地域活性化に向けた連携を図ってきました。

こうした取組みの中でREVICは、訪日外国人旅行者にとって「日本ならではの」魅力を持つ観光資源である「観光遺産(文化遺産・自然遺産等)」を活用する観光事業者に対し、出資及び経営人材のハンズオン支援等を行う「観光遺産産業化ファンド」を2019年6月19日に設立しました。また、関係省庁や地域の金融機関、観光関係事業者等とも連携し、地方へのインバウンド誘客及び地域の観光消費額増加等に向けた支援を行っております。

以上

### <報道に関するお問い合わせ先>

・平泉町に関するお問い合わせ

平泉町役場観光商工課 TEL:0191-46-5572

・今後の取組に関するお問い合わせ

一般社団法人世界遺産平泉・一関DMO TEL:0191-345-345

・観光遺産産業化ファンドに関するお問い合わせ

株式会社地域経済活性化支援機構 TEL:03-6266-0590